北海道旭川東高等学校〈全日制〉令和４年度学校経営シラバス　令和４年４月６日

スクールミッション
⑴ 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成
⑵ 学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき何ごとにも全力を尽くす精神を涵養し、日本及び国際社会の問題や課題を予見・解決し、新たな価値を創造できる有為な人材の育成

育成すべき生徒像
⑴ 自らの感性や創造性を磨き、自分の人生や社会とのつながりを実感できる生徒
⑵ 自らの能力を引き出し、その能力を将来会う課題の主体的な解決に活かすことのできる生徒
⑶ 心豊かで、リーダーシップを発揮できる生徒
身に付けさせるべき8つの力(旭東 DP ディプロマポリシー)
①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力

経営方針　１　スクールミッションを果たすため、保護者や地域と協働して不断の改善を行う。
２　今日的課題の解決に積極的に取組む。（ICT、働き方改革、感染対策）。
３　教職員が「学び、学び合う」学校、生徒を主語にする学校づくりに努める。

教育活動

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	主体的に学びに向かう姿勢、基礎的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を育成するための教育環境の整備	学習指導方法の改善	学習指導方法の改善に向けて、特に「観点別学習状況の評価」による評価方法の改善について、組織的、具体的な取り組みを進められたか。	教務部、各教科
		生徒の学習の量的確保と質的向上	学習状況調査の結果をもとに、生徒が日常的に学びに向かうよう週 1000 分の学習時間を確保できる環境を整えられたか。	教務部、各教科、学年
		生徒の生涯にわたり学びに向かう態度の涵養	読書習慣の育成と総合的な探究の時間の効果的な実施等、生徒が生涯にわたり学びに向かう姿勢を持ち続けるよう知的好奇心を刺激する取り組みを行えたか。	教務部、各教科
		適切なカリキュラム・マネジメントの実施	他の分掌と連携し、「旭東 SCHOOL MISSION」と紐付けした教育活動を実践できるように、具体的な取り組みを進められたか。	教務部、進路指導部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任、自立ある生徒の育成	ルールの順守、マナーやモラルの維持・向上	東高生に相応しい挨拶や服装等の指導、自転車運転や公共交通機関利用のマナー、スマホ利用等の指導が、職員の共通理解のもとで適切に行われたか。	生徒指導部、学年
		生徒会活動と旭東 DP との関連付け	本校の生徒会活動と旭東 DP との関連付けを行うとともに、ルーブリックの作成等により達成度の検証に向けた取組がなされたか。	生徒指導部、学年
		いじめ防止対策等の充実	「学校の基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実に努めるとともに、トラブル発生時の初期対応等に関する適切な研修が行われたか。	生徒指導部、保健相談部学年
		部活動の在り方に関する理解と改善	「道立学校に係る部活動の方針」を踏まえた本校の活動方針の周知、理解を深めるとともに、本校の持続可能な部活動の在り方について検討が進められたか。	生徒指導部、部顧問
進路指導	進路意識の高揚と実力養成による生徒の進路実現	2022年度入試への対応	2022年度入試に関する情報収集と共有化を進め、指導体制・業務内容の機能化を図ることが出来たか。	進路指導部、学年
		組織的な業務の実施	学年と連携し、進路行事の充実と進路業務の共有化を図り、指導の充実につなげることができたか。	進路指導部、各教科
		学習指導要領の円滑な実施	令和４年度からの実施に向けて教務部と連携し、校内体制の構築や「総合的な探究の時間」等のさらなる充実を図ることができたか。	進路指導部、学年、教科
健康・安全指導	自他の生命を尊重できる生徒の育成	個別支援体制の充実	教育相談、特別指導等における組織的な支援、指導の内容の検討など、持続可能な個別支援体制の在り方について検討が進めることができたか。	保健相談部、学年
		自己管理能力の向上	学年等との連携のもと、心身の健康課題に組織的かつ適切に支援することができたか。	保健相談部、生徒指導部、学年
		危機管理体制の向上	生徒が安心・安全な学校生活を送るための危機管理体制の点検、見直しを実施し、特に地震等非常災害時における対応の体制が整えられたか。	総務部、生徒指導部、保健相談部、事務部

学 校 経 営

領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域から信頼される学校づくり	保護者や地域との協働	学校評価の活用	学校評価の傾向や意見を真摯に受け止め、具体の改善につなげることができたか。	総務部、各分掌、学年
		積極的な情報発信	スピード感をもって、地域や保護者のニーズに応える発信ができているか。	教務部、進路指導部、総務部
		保護者のニーズ把握	保護者との意見交換の機会を増やし、日常的なニーズの把握ができたか。	総務部、各分掌、学年
組織運営	今日的課題への対応	会議等の効率化	ICT 機器の活用、資料の事前配布や説明の簡略化など、目的を明確にした効率的な会議となっているか。	総務部
		校内組織の見直し	６間口校としての組織、構成の見直し、校内体制の改善に向けた検討が行われたか。	総務部
		働き方改革の取組	職員の意見を積極的に取り入れるなど、持続可能な学校体制の整備が図られたか。	総務部、各分掌、学年
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有	授業研究・校内研修の充実	管理職が校内研修をデザインし、先生自身が「学び、学び合う」ことができているか。生徒に教えたことが、生徒側の学びにきちんとつながっているかどうかを常に振り返って検証しているか。	管理職、教務部、各教科
		コミュニケーション	嗜好や愚痴を吐露できるコミュニケーションがあり、不祥事が起こりにくい職場環境となっているか。	総務部